

### 教育理念

今 吹田から未来の力を  
いのち生命かがやき ともにつながり  
未来を拓く吹田の教育

## 教育現場にICTの活用を進めます

図教育センター(☎63388・1455 ☎6337・5412)



佐井寺中学校の授業風景

1月から小中学校では教職員に1人1台のパソコンを配備するとともに、コンピュータ教室の学習用パソコンを新しくしました。併せて情報管理システムを採用し、教育現場にICT(情報・通信に関する技術)を活用することで、子どもの学びたい気持ちを引き出し、自ら考える授業を進めます。



### ICTを活用した授業

#### 情報収集力の向上

タブレット端末を利用して情報を集めたり、写真や動画撮影機能を利用して観察記録をつけたりします。

子どもたちが主体的に取り組む授業を増やすことで、情報収集力や洞察力、表現力などの向上を図ります。



#### 学習効果の向上

教材をプロジェクターで映し出すことで、分かりやすく伝えられます。

写真・動画・図表などを活用して学習効果の向上を図ります。



#### コミュニケーション力の向上

グループで話し合った内容や資料をパソコンで編集し、プロジェクターなどで投影することで、限られた授業時間でもグループ学習が行えるようになります。グループ学習をたくさん行うことで、コミュニケーション力の向上を図ります。



## ICTの活用で、事務を効率化

教職員に1人1台のパソコンを配備するとともに書式の統一化を行い、書類作成にかかる時間の短縮を図ります。教材や子どもたちの成績、教職員などの情報をサーバーで一元管理することで、事務の引き継ぎや指導を容易にします。  
また、学校ホームページなどでの地域や保護者向けの情報発信も、より簡単にできるようになっています。

## 教材の共有で 子どもの向き合っ 教育の質を向上 時間を増やす

市内の小中学校の教材データを全教職員で共有し、優れた教材を各校の授業で活用します。  
教材を共有することにより、教育の質の向上につながります。

教職員が事務作業に費やす時間を減らすことで、子どもと向き合う時間や、学習方針や教え方などの意見交換をする時間を確保できます。今以上に教職員が子どもに積極的に向き合います。



### セキュリティーの強化も

子どもたちの個人情報報告を取り扱う場合は、教職員の「手のひら静脈」での認証を行います。



### 事例紹介

平成25年に千里みらい学園、千里たけみ小学校で実施した特別授業では、6年生の児童がインターネット回線を利用してテレビ電話などができるSkype体験。ネパールのカンティプール英語学校の児童らと英語で交流しました。

スクリーンに映し出されたネパールの児童らに「Let's have a good time. (楽しい時を過ごしましょう)」とあいさつをしたあと、お互いの国の歌や遊びを英語で披露しました。  
参加した児童は、ネパールを身近に感じ、「英語をもっと話せるようになりたい」と話しました。



### モデル実施から本格実施へ

吹田市では、これまでテレビ電話の機能を活用して海外の小学生と英語で交流する授業や、複数の児童で1つのタブレットを共有して行うグループ学習などを実験的に行ってきました。  
1月にパソコンなどの学習環境を整備したことで、小中学校で教育現場におけるICT化を推し進めます。